

千城台旭小学校避難所運営委員会・千城台東町自治会の取り組み

<千城台旭小学校避難所運営委員会>

○委員の構成

- ・ 委員長・副委員長(2人)ともに女性であり、委員全体でも半数以上女性である。
- ・ 自治会の役員は毎年入れ替わるが、運営委員会の委員は継続してもらうようにしている。
- ・ 毎月1回集まっている。小学校の教頭も参加している。
- ・ 構成員に女性が多いこともあり、女性も発言しやすくなっている。

○取り組み

- ・ 避難所について、避難者が使用できる更衣室を2部屋とっている。
- ・ 小学校体育館(居住スペース)の区割りについて、要援護者用にスペースを設けている。
- ・ 避難所活動をするときに、腕章だけでは目立たないため、避難者に判り易い目印になるよう、自治会ごとに色が異なる防災ベストを作成している。
- ・ 女性委員の提案により、備蓄物資・資機材について、リストの中に納入年、賞味期限を記載している。また、今年納入したものは、黄色に塗りつぶして一目で見て、わかりやすく工夫している。(下記①参照)

<千城台東町自治会>

○防災訓練の実施

- ・ 訓練では、実際に、車椅子を押したり、担架を使用したりしている。また、大きな釜で、アルファ米を使用してカレーを作る炊き出し訓練も、男女の隔てなく実施した。
- ・ 訓練の中で、防災に関するクイズを実施し、各家庭で出来る最小限の知識の確認を遊びの中で培って貰い、又景品として、紙皿とサランラップをプレゼントした。サランラップを紙皿の上に使用すれば、紙皿は汚れず、継続して使用できる。災害時にそういったことを意識してもらうため、景品も工夫している。

○住民の啓発

- ・ 毎月2回、回覧板に防災ニュースを載せている。(下記②参照)

《参考》

物資・資機材名称	内訳	備考
アルファ米(食)	150食(50食×3箱)	2016.2納入 2021年
アレルギー対応食(食)	50食(50食×1箱)	賞味期限 2017年12月
食料(クラッカー)	140食(70食×2箱)	賞味期限 2018年1月
"	70食×1箱	賞味期限 2019年7月
"	350食(70食×5箱)	賞味期限 2020年4月
"	210食(70食×3箱)	2016.2納入 2021年
水ペットボトル(500ml)	240本(24本×10箱)	賞味期限 2018年1月
水ペットボトル(500ml)	240本(24本×10箱)	賞味期限 2020年4月
"	288本(24本×12箱)	2016.2納入 2021年

② (防災) ニュース NO.17 町民新聞

東町自治会自主防災隊

すぐに実践！食料品備蓄の工夫

災害に備えた食料品の備蓄をしていますか？

大きな災害が起きたとき支援物資はすぐに届かない可能性もあります。また、浄水場や上下水道への被害で水の備蓄が滞ることも考えられるため、水や食料は少なくとも3日分、できれば1週間分を備えるのが望ましいとされています。

今、家にある備蓄品を把握し、必要なものを買い足していざというときに備えましょう！

消費しながら備える<ローリングストック法>

非常食というと、多くの人が何年も保存のきくものや、乾パンなどを思い浮かべますが、最近では「食わずにおいておく」のではなく「食べながら備蓄する」という<ローリングストック法>が効率的な買い換え方法として推奨されています。

いざというときに備えておくべきもの、備えておきたい食料品を選び、家族の人数や構成に合わせて種類や量を決めて足りないものは買い足しておきましょう。

5利 点5

①食べたらの1食分を買い足して補充しておくことで、用意した非常食が入れ替わり、見直しを生活習慣にしやすい。

②消費期限が1年程度のもので非常食になる。

③備蓄食糧品の種類に変化をつけられる。